

元第6号陳情　　ちょこバスにシルバーパス提示料金として、普通乗車運賃100円を新設する陳情

受 理 年 月 日　　令和元年11月26日

陳 情 者　　東大和市芋窪1-1998-1
市民のための市政をつくる会
代表 田中 清春
東大和市向原6-1389-3
市民のための市政をつくる会
事務局長 柳下 進

付託する委員会　建設環境委員会

陳情趣旨

ちょこバスは、東大和市の独自事業である。現在普通運賃大人180円・同小人90円、障害者運賃大人90円・小人50円の設定がある。この運賃体系にシルバーパス保有者である、高齢者に配慮した応分な負担料金としたシルバーパス提示で100円の普通運賃設定を要望するもの。

陳情理由

1. ちょこバスは、市の独自事業であり、市民の足である。市民の要望や意見を最大限反映すべきである。
2. ちょこバス事業は、添付の「ちょこバス年度別収支等状況」のとおり、初期の順調拡大安定期、ルート変更後の低迷期、運賃180円への値上げ等による持ち直し向上期と変遷している。
3. 令和元年9月市議会で佐竹議員は一般質問「ちょこバスの利用促進に関し、例えばシルバーパスを提示した高齢者は通常料金ではなく、子供料金と同額もしくは百円にするなどして、日常的に乗車しやすくなるよう、料金体系を工夫すべきと考えるが、」と質した。

これは、現役世代より収入が少ない高齢者市民からの要望、シルバーパスの存在がありがたいという高齢者の存在、シルバーパスの提示での利用がふえることからとしている。

この佐竹議員の指摘は、高齢者人口の増大、市民の声を反映、ちょこバス事業の推移等から判断すると、まことに時宜を得たタイムリーな現実的なものといえる。

4. ちょこバスにシルバーパスでの乗車に関しては、2018年12月市議会で、市の答弁、「シルバーパスでの無料乗車を導入すると運賃収入は500万円減収する。」とあった。これからすると、運賃が180円から100円となった場合の運賃収入に与える影響は約250万円の減額となる。
5. 250万円の乗車運賃総額は1回100円乗車で換算すると、25,000回乗車。仮に買い物等日常的な乗車者が500人新たに出て、月4回乗車（2往復）するとカバーできる計算になる。月8回乗車（毎週1回4往復）とすると250人。
6. ちょこバス事業は、「乗車人員の移動空間提供事業」で定員に満たない運行は、その分は稼働ロスとして取り戻しのできない「利用便益の逸失」である。税金の費用対効果という観点からは、もったいないことである。逆に言えば、創意工夫をして乗車人員をふやせばふやすほど効果が上がる事業。需要創出事業である。
7. 以上の理由に鑑み、「市民のための市政をつくる会」では、時宜を得た佐竹議員の考えに同調し、市民、行政、議会と一緒に新たな乗車ニーズを創造し、ちょこバス事業の維持発展を図るために本陳情を提出するもの。